

森林生態学特論（2単位）

担当者氏名 中村幸人・武生雅明

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

林学専攻では森林の保全と持続的な利用を目指して、総合的な研究能力と管理能力を養う教育目標がある。森林生態学特論では総合的な研究能力を養うために、森林の生態系が有する機能を種組成と構造(形態)・立地(生態)・更新(動態)に分けて教授する。また、日本列島の森林植生の成り立ちを種組成と構造・立地・更新特性から理解する。そのために授業には室内と野外における実習を設け、資料には英文誌もを利用して語学能力を高める。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

植生学

植物地理

生態学

生態系

森林構造

森林立地

森林更新

森林保全

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	森林の種類(1)	森林とは何か、世界にみられる森林(1)	テーマはおよそ、授業の進行に沿って並べてあるが、担当者の分担によって、順は前後する。中村は森林の種類と森林の機能森林の構造を担当する。武生は森林の立地と更新を担当する。
2	森林の種類(2)	森林とは何か、世界にみられる森林(2)	
3	森林の機能(1)	森林における生態系の循環機能(1)	
4	森林の機能(2)	森林における生態系の循環機能(2)	
5	森林の構造(1)	森林の構成種と階層構造(1)	
6	森林の構造(2)	森林の構成種と階層構造(2)	
7	森林の立地(1)	森林が成立する環境要因(1)	
8	森林の立地(2)	森林が成立する環境要因(2)	
9	森林における共生	森林における動植物の共生関係	
10	森林の更新と遷移	森林の更新と遷移に伴う属性の変化	担当者の講義が異なるために事前予習を行うこと、事後の復習は担当者ごとに分けて行うこと。
11	森林の利用	持続的な森林利用のために生態学	
12	森林の保全	森林保全の必要性とそのための手段	
13	日本の森林(1)	日本の森林の自然林を主に理解する(1)	
14	日本の森林(2)	日本の森林の自然林を主に理解する(2)	
15	予備日		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

森林の生態学/種生物学会/文一総合出版(2006)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

講義中の応答とレポートの提出による評価を行う。

◆オフィスアワー

火曜日の午後に研究室で対応する。

◆その他受講上の注意事項

修論のための野外調査により出席が難しいときは事前に相談すること。